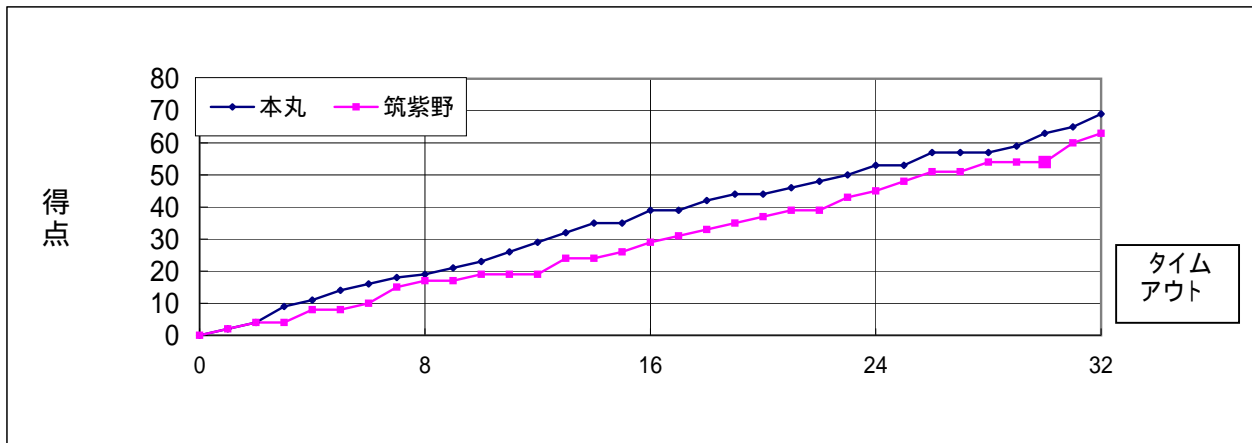


試合区分	3日目	男子決勝	3GM4															
期日	2010年(平成22年)8月25日(水)		14:20															
会場	広島県立総合体育館																	
結果	本丸 69 (新潟)	<table border="1"> <tr><td>19</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td>20</td><td>-</td><td>12</td></tr> <tr><td>14</td><td>-</td><td>16</td></tr> <tr><td>16</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	19	-	17	20	-	12	14	-	16	16	-	18	-	-	-	63 筑紫野 (福岡)
19	-	17																
20	-	12																
14	-	16																
16	-	18																
-	-	-																
審判	主審 富島 健司	副審 恩地 孝明																



本丸

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 三枝 幹司 (C)	12	2	2	2	0
5	* 金子 大希	16	3	3	1	1
6	* 築井 良知	32	0	15	2	3
7	矢部 優	-	-	-	-	-
8	* 河内 峻太	9	1	2	2	2
9	佐藤 駿	-	-	-	-	-
10	小島 喜睦	-	-	-	-	-
11	齋藤 将名	-	-	-	-	-
12	加藤 拓未	-	-	-	-	-
13	渡辺 侑貴	-	-	-	-	-
14	原 一基	-	-	-	-	-
15	小池 悠太	-	-	-	-	-
16	廣田 雄也	-	-	-	-	-
17	* 長谷川 蓮	0	0	0	0	2
18	清野 凌	-	-	-	-	-
コーチ	富樫 英樹					
合計		69	6	22	7	8

筑紫野

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 帯刀 滉暉 (C)	14	4	1	0	1
5	* 砥綿 啓伍	22	4	4	2	1
6	* 野中 亮吾	10	0	4	2	1
7	* 中村 文紀	11	1	4	0	2
8	添田 拓斗	-	-	-	-	-
9	原田 成斗	-	-	-	-	-
10	鐘江 啓斗	-	-	-	-	-
11	市川 恭平	-	-	-	-	-
12	* 濱田 健太	6	0	3	0	2
13	安藤 琢郎	0	0	0	0	1
14	瀬戸 洸平	-	-	-	-	-
15	田代 浩太郎	-	-	-	-	-
16	久松 龍孔	-	-	-	-	-
17	榊 洸哉	-	-	-	-	-
18	野中 貴仁	-	-	-	-	-
コーチ	帯刀 三寛					
合計		63	9	16	4	8

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

男子決勝は2年ぶりの優勝を狙う本丸対、準決勝を接戦で勝ち上がり勢いに乗り初優勝を狙う筑紫野の対戦となった。1Q立ち上がり、本丸はハーフコートのマンツーマンDef、筑紫野は2-3ゾーンDefでスタート。本丸は#5の3P、#6のシュートで得点を決めるが、筑紫野も#5が連続得点を入れるなど、序盤はお互いに点を取り合う。その後も、本丸は#5の外角シュート、#6のゴール下と得点を重ねる。筑紫野も#7の3P、#12のジャンプシュートで応戦し、1Q本丸19-17筑紫野で終了。2Qに入り、本丸は速いパス回しから#6のシュート、#4の3Pなどで4分過ぎに10点差をつけた。筑紫野はOffのリズムがなかなかつかめず得点のない時間帯が続いたが、残り1分を切り、#4の3P、#5がシュートをきめて追いつき、本丸39-29筑紫野で終了。

3Q、両チームの特徴を出し、筑紫野は速攻から#6が連続6得点をいれる。しかし本丸も落ち着いたパス回しから、#8、#6のジャンプシュートを決めるなど、一進一退の攻防が続く。終盤にかけて筑紫野は、#6、#7のドライブからの得点で5点差まで詰めるも、残り15秒、本丸#6のバスケットカウントで8点差となり、3Q終了。4Q、筑紫野はDefをオールコートプレスに変え、#5、#4の連続3Pを決め、3分30秒経過したところで3点差まで詰め寄る。対する本丸は、#6のゴール下の得点で応戦する。筑紫野は残り1分をきったところで、#5が連続3Pを決め、追いつくも届かず本丸69-63筑紫野で本丸が2年ぶり2回目の優勝をかざった。最後までコート走り回りの醍醐味を味わわせてくれた。両チームに拍手を送りたい。

© 2010 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.0063b

記事者 土橋 一美 (所属) 広島